

住宅用家屋証明申請書

(あて先) 三鷹市長

年 月 日

申請者 住所
氏名

TEL - -

租税特別措置法施行令 { (イ) 第41条
{ 特定認定長期優良住宅又は認定低炭素住宅以外
{ (a) 新築されたもの
{ (b) 建築後使用されたことのないもの
{ 特定認定長期優良住宅
{ (c) 新築されたもの
{ (d) 建築後使用されたことのないもの
{ 認定低炭素住宅
{ (e) 新築されたもの
{ (f) 建築後使用されたことのないもの } の
{ (ロ) 第42条第1項 (建築後使用されたことのあるもの)
{ (a) 第42条の2の2に規定する特定の増改築等がされた
{ 家屋で宅地建物取引業者から取得したもの
{ (b) (a)以外 }

規定に基づき、下記の家屋 (年 月 日 { (ハ) 新築 } { (ニ) 取得 }) がこの規定に
該当するものである旨の証明を申請します。

申請者(取得者) の住所			
申請者(取得者) の氏名等			
家屋の所在地番	三鷹市 丁目 番地	家屋番号	
取得の原因 (移転登記の場合に記入)	(1) 売買	(2) 競落	
建築年月日	年	月	日
構造	造	床面積	・ m ²
申請者の居住 (取得者)	(1) 入居済	(2) 入居予定	
区分建物の 耐火性能	(1) 耐火又は準耐火	(2) 低層集合住宅	
工事費用の総額 ((ロ)(a)の場合に記入)			円
売買価格 ((ロ)(a)の場合に記入)			円

三市資証 第 号 令和 年 月 日

1300円
手数料

《記入上の注意は裏面》

《記
入
上
の
注
意》

1. { } 中は、(イ)又は(ロ)のうち該当するものを○印で囲み、(イ)を○印で囲んだ場合は、さらに(a)から(f)のうち該当するものを○印で囲み、(ロ)を○印で囲んだ場合は、さらに(a)又は(b)のうち該当するものを○印で囲むこと。
2. (イ)(a)、(c)又は(e)に該当した場合は、(ハ)新築を○印で囲み、(イ)(b)、(d)、(f)又は(ロ)(a)又は(b)に該当した場合は、(ニ)取得を○印で囲むこと。年月日は(ハ)、(ニ)のいずれかに該当した年月日を記入すること。
3. 「取得の原因」の欄は、上記(イ)(b)、(d)若しくは(f)又は(ロ)を○印で囲んだ場合に限り、(1)又は(2)のうち該当するものを○印で囲むこと。
4. 「建築年月日」の欄は、(イ)(b)、(d)又は(f)を○印で囲んだ場合には記載しないこと。
5. 「構造」の欄は、建築後20年超25年以内に取得された家屋について証明を申請する場合に記載し、当該家屋の登記記録に登録された構造を記載すること。
6. 「申請者の居住」の欄は、(1)又は(2)のうち該当するものを○印で囲むこと。
7. 「区分建物の耐火性能」の欄は、区分建物について証明を申請する場合に、(1)又は(2)のうち該当するものを○印で囲むこと。なお、建築後使用されたことのある区分建物の場合、当該家屋の登記記録に登録された構造が、石造、れんが造、コンクリートブロック造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造であるときは、(1)を○印で囲むこと。
8. 「工事費用の総額」の欄は、(ロ)(a)を○印で囲んだ場合にのみ、租税特別措置法施行令第42条の2の2第2項第1号から第7号までに規定する工事の種別のいずれかに該当する工事の合計額を記載すること。
9. 「売買価格」の欄は、(ロ)(a)を○印で囲んだ場合にのみ、当該家屋の取得の対価の額を記載すること。

住宅用家屋証明書

租税特別措置法施行令 { (イ) 第41条 { 特定認定長期優良住宅又は認定低炭素住宅以外 (a) 新築されたもの (b) 建築後使用されたことのないもの } 特定認定長期優良住宅 (c) 新築されたもの (d) 建築後使用されたことのないもの } 認定低炭素住宅 (e) 新築されたもの (f) 建築後使用されたことのないもの } (ロ) 第42条第1項 (建築後使用されたことのあるもの) { (a) 第42条の2の2に規定する特定の増改築等がされた家屋で宅地建物取引業者から取得したもの } (b) (a)以外 } の

規定に基づき、下記の家屋 (年 月 日 { (ハ) 新築 } { (ニ) 取得 }) がこの規定に該当するものである旨の証明をします。

申請者(取得者)の住所		
申請者(取得者)の氏名等		
家屋の所在地番	三鷹市 丁目 番地	家屋番号
取得の原因 (移転登記の場合に記入)	(1) 売買	(2) 競落
備考		

三市資証 第 号 令和 年 月 日

三鷹市長 河村 孝